留年者インタビュー

後輩よ、俺を越えて行け。

本学の代名詞と言われている留年、本学学生ならば誰もが一度は聞いたことがあるだろう。だが、留年という言葉をよく聞いても実際に留年した学生と出会う機会はあまりないはずだ。もし同じ教室で授業を受けていたとしても誰が留年した人かどうかは知る由もない。皆どこか興味はあるものの、留年についての話を聞くことは難しい。今回は実際に留年を経験してしまった先輩に留年が決まったときの心情や、原級生としての1年間はどうだったか、など当時のことを細かく聞くことができた。

Q. なぜ留年をしてしまったと思いますか。

A. 自分でも分かっていたけど勉強をしてこなかったし、バイトを入れすぎたっていうのは言い訳かな。やっぱり試験前に勉強不足っていうのがあったよね。

Q. アルバイトはどのくらいの頻度で入れていましたか。

A. アルバイトは週4から週5で入っていたね。試験前は休むべきだったけど、周りは休む人が多くて人手不足だったので、最低限に抑えても勉強の時間が足りなかったんでしょうね。まあバイトのせいにはしたくないよね。

Q. 試験勉強はどのようにしていましたか。

A. 過去問の演習をやっていたんですけどね、友達が少なかったから過去問をあまり持っていなかったんだよ。友達はサークルの先輩から貰っていたけど、僕は貰いそびれてしまって過去問の数が少なく万全じゃなかったんだよ。まあ友達や先輩との関係はしっかりしておこうってことだね。

Q. 再試験になった時はどんな気分でしたか。

A. それはもう色々と嫌になったね。とりあえず最初の方で頭をよぎったのは、学校を辞めるってことかな。だってもうここで落ちたら留年するってことだしね。同じ学年をもう一回やるっていうことは学校の学費を余分に親に払わせる、または自分で払うということだからね。でも辞めるわけにはいかないし、卒業しないといけないから、学校だから。とりあえず合格することを目標に必死にやってきたはずなんだけどね。

Q. 再試験までの間はどのように過ごしていましたか。

A. もうひたすら勉強していたんだけど、勉強したのに何で落ちたのかな。もう自分でも分からないよ。再試験には前期の問題が出るのか、後期の問題が出るのかよく分からなかったのでとりあえず前期の分から勉強してみると再試験には後期の問題しか出なかったりとかね。

Q. 留年が決まってしまった時はどのような気持ちでしたか。

A. ショックとかよりも本当に親に申し訳なかった。それまでは学費を親に払ってもらっていたから。だから留年してからは自分で学費を払うようにしているけど、ショックとか絶望とか何よりも一番に感じたのは申し訳なさかな。

Q. 留年することを親にどのように話しましたか。

A. 学費はなるべく自分で払うから、もう1年通わせてくださいと親に言ったら承諾してくれたので、そこは割と問題なかったかな。

Q. 原級生として1年生をやり直していた時はどうでしたか。

A. ものすごくダメな話ですけど僕は力学の授業は出ていませんでした。電磁気学の授業は受けていたけど苦ではなかったかな。結局授業っていうのは一人で受けているわけだし、テストの時も一人だから。僕の代は電磁気学を落としている人が多く、周りを見渡すと知り合いがいたっていうのは大きいかな。正直それがなかったらどうなっていたか分かりません。

Q. 一度受けた授業をもう一度受けてみて授業の見え方とか考え方は変わりましたか。

A. 電磁気学は先生自体が変わってより詳しくなって良かったと思いました。力学は授業プリントが同じだったから授業の最後の3回で配られる演習問題と解答を貰っておけばいいのかなと勝手に判断して授業に出なかったね。授業に出なかった日は、早く家に帰って休んだり遊んだりしていたね。

Q. 今年も力学が再試験になってしまったのはなぜだと思いますか。

A. プリントが少し変わっていて、それに気が付かなかったのが原因かな。それで試験に臨んでしまったから対応出来なかったんだよね。

Q. 2回目の再試験が決まった時はどんな気持ちでしたか。

A. もう試験中に再試験になることは分かっていたから、試験が終わった次の日には勉強を始めていたね。2回目の再試験だから何を勉強すればいいか分かっていたしそこを重点的に勉強したかな。

Q. 2回目の再試験を終えてから進級発表まではどのような気持ちで過ごしていましたか。また、どのように日々を過ごしていましたか。

A. 終わった後の手応えがそこそこあったので何とも言えない気持ちだったね。進級のさせ方が自分でも把握できておらず、8割以上出来てないと不合格だったら厳しいなと思っていたのでかなり不安だった。でも終わってしまった以上もう何もできなかったので不安な気持ちで結果を待ち続けたよ。ただ、試験の後の後悔は不思議となかったね。

Q. 留年しても4年で卒業できると聞いたことがあるのですが実際はどうなのですか。

A. 僕も心配になって先生に伺ってみたら1年生、原級生、2年生、3年生の4年間でしっかりと単位を修得して卒業見込みをもらえれば4年で卒業できるらしいです。

Q. 今年は無事進級できたそうですが、今どのような気持ちですか。

A. 嬉しいけど当たり前のことが1年目の時に出来なかったのと、昨年1年間を無駄にしたと思うと後悔の気持ちの方が強いかもしれないね。ただ、なんだかんだ安心したよ。

Q. もしもまた留年することになっていたらどうしていたと思いますか。

A. してないから何とも言えないけど、自分で学費を払って通い続けていたと思うね。大学を辞めても自分の将来がさらに暗くなるだけだもの。

Q. 今年留年してしまった人に向けてアドバイスをください。

A. しっかり勉強しておけよ。

Q. 今年の1年生に向けてアドバイスをください。

A. 関門科目だけは落とすなよ。

学部別進級率（%）

進級学年	学部	平成24年度	平成23年度	平成22年度
2年	理学部第一部	83.7	85.3	85.5
	工学部第一部	93.1	93.4	94.1
	理学部第二部	77.3	72.7	73.5
	工学部第二部	70.5	70.8	64.8
3年	基礎工学部	70.5	87.1	83.8

※東京理科大学HPより抜粋